

令和6年度 経営改革プラン

団体名	神戸新交通株式会社	
設立年月日	昭和52年7月18日	
団体の設立目的・沿革	<p>昭和51年度に策定された第2次神戸市総合基本計画において、都市の環境と調和し、都市構造と一体となった安全、便利で快適な市民交通機関の整備を図るため、鉄道を大動脈、バスを毛細血管、そのギャップを埋めるいわば中動脈の役割として新交通システムが位置づけられた。そのような中、当社は海上都市ポートアイランド、六甲アイランドと市街地の主要ターミナルを連絡するポートアイランド線、六甲アイランド線を運営する目的で設立された。</p> <p>〔沿革〕</p> <p>昭和52年 神戸新交通株式会社設立</p> <p>昭和56年 ポートアイランド線（ポートライナー）営業運転開始</p> <p>平成 2年 六甲アイランド線（六甲ライナー）営業運転開始</p> <p>平成18年 ポートアイランド線延伸線（ポートライナー）営業運転開始</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	鉄軌道事業	都市局交通政策課
	不動産賃貸業	自主事業
代表者	代表取締役社長 辰馬 秀彦	

役職員数 (令和5年7月時点)	取締役		監査役		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	1	-	-	-		157	158
神戸市派遣職員	1	4	-	-		2	7
神戸市OB職員	-	-	-	-	-		-
その他	1	4	1	2	26	-	34
合計	3	8	1	2	26	159	199

財務状況（単位：百万円）	令和4年度	令和3年度	差引
経常損益	705	▲ 506	1,211
税引後当期純利益	703	▲ 48	751
販売費及び一般管理費	329	300	29
流動資産	5,425	5,432	▲ 7
流動負債	2,945	3,589	▲ 644
長期借入金（固定負債）	22,654	22,327	327
期末現金預金残高	3,458	3,835	▲ 377

■中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針2025期間中のミッション）

ミッション①	ポートアイランド、六甲アイランドと市街地を結ぶ基幹交通としての役割を果たす
ミッション②	経営改善の取組み
ミッション③	沿線地域との連携強化
ミッション④	新たな需要への対応

■短期的なミッション（令和6年度のミッション）

ミッション①	服務規律遵守徹底等の労務ガバナンス改善行動計画の着実な推進
ミッション②	市内の回遊性向上に向けた交通事業者間の連携

■経営指標（令和4年度）

経営指標				令和3年度	令和4年度	前年度比増減
人的 パフ オー マン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	▲0.251	3.818	4.1ポイント
	経常費用 人件費比率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	23.15%	25.42%	2.3ポイント
財政 的 パフ オー マン ス	総資本 経常利益率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	▲1.51%	2.09%	3.6ポイント
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	103.79%	119.48%	15.7ポイント
財政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	151.36%	184.23%	32.9ポイント
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	18.47%	20.36%	1.9ポイント
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているか。	▲0.77%	10.22%	11.0ポイント
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産) /当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	▲0.77%	10.22%	11.0ポイント

※ 鉄軌道事業においては「中小企業実態基本調査」による業種別平均値が存在しない。

■ ミッション工程表

ミッション名		令和6年度						令和7年度～						
中長期的ミッション														
①	ポートアイランド、六甲アイランドと市街地を結ぶ基幹交通としての役割を果たす	安全・定時運行の維持改善												
②	経営改善の取り組み	保守費・経費・設備投資・人件費等を対象に10年総額80億円の経費削減の取り組みを実施												
		進捗管理と時点修正						次期、中期経営計画策定						
		適正なダイヤ改正の検討												
③	沿線地域との連携強化	沿線企業とのイベント共催などの調整・検討・実施												
④	新たな需要への対応	神戸空港の国際化や企業進出等による需要の変化に対応するための検討・実施												
ミッション名		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
短期的ミッション														
①	サービス規律遵守徹底等の労務ガバナンス改善行動計画の着実な推進	通年で計画を実行												
					上期実施状況の検証 下期計画の策定			コンプライアンス委員会で検証・評価			今年度の実施状況の検証 次年度計画の策定			コンプライアンス委員会で検証・評価
②	市内の回遊性向上に向けた交通事業者間の連携	クレジットタッチ決済サービス実証実験 4月上旬開始(PI線)			QRを活用したデジタル乗車券サービスの導入に向けた整備（令和7年度開始予定）									

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	<p>目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市民にとって利便性の高い交通手段の提供、安全輸送及び定時運行に努める。</li> <li>・ 沿線地域との連携強化による需要喚起や経費削減等により、令和7年度には収支をバランスさせ、黒字化する。</li> <li>・ 市と連携しながら、新たな需要に応じた混雑緩和の取組みや、利用状況に応じた適正なダイヤの検討を行う。</li> <li>・ コンプライアンス委員会で労務ガバナンス改善行動計画の進捗及び実効性を検証のうえ、取締役会に報告・提言を行う。</li> <li>・ MaaS等を活用したよりシームレスで快適性・利便性の高い交通サービスを早期に実現する。</li> </ul>
		・ 運輸安全マネジメントを推進する。
		・ 鉄道安全設備の計画的な更新・補修。
		・ 令和3年度からの10年間で総額80億円の経費削減を行う。
		・ 島内の協議会や地域コミュニティへの参画を通じて企業等とのコミュニケーションを推進し、地域の活性化に努める。
		・ 市と連携し、ポートアイランド方面路線バスとの共通乗車社会実験による混雑緩和対策を継続し、協力していく。
		・ ポートライナーの輸送力増強策について検討を行う。
		・ PDCAサイクルを繰り返すことで、労務ガバナンス改善行動計画を着実に改善・実施していく。
		・ 訪日外国人を含む来街者の観光回遊軸の形成に向け、クレジットタッチ決済のサービスの実証実験を、4月上旬にポートアイランド線で開始する。
		・ QRを活用したデジタル乗車券サービスの導入に向けた整備を行う。

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	